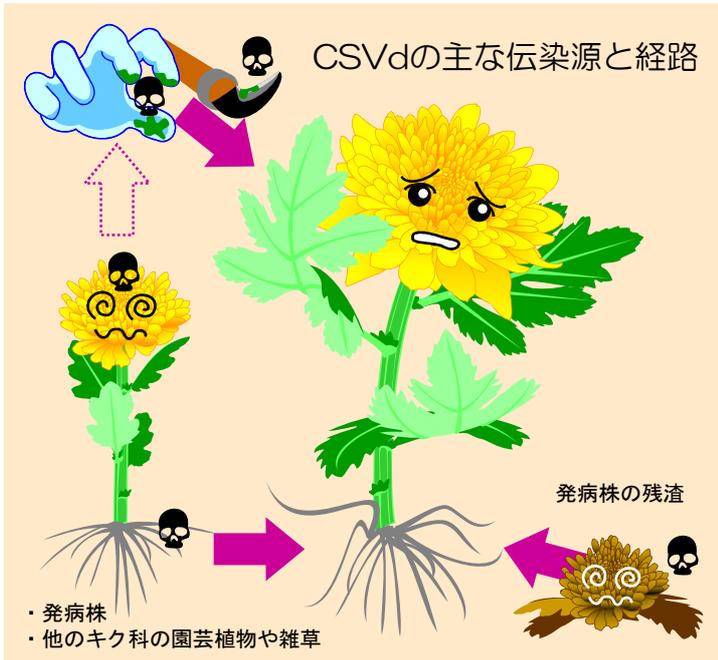


わい か びょう
キク矮化病
蔓延防止マニュアル



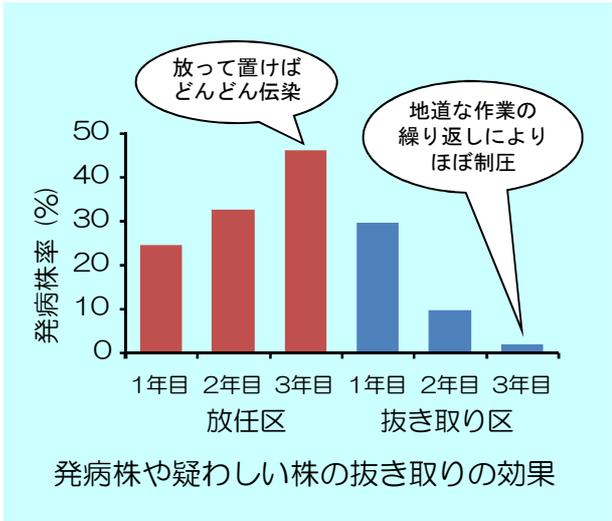
農業の新技术 No.102 2013 農業総合試験場

ウイルスによって引き起こされる
キク矮化病の蔓延防止マニュアル

矮化株

キク矮化ウイルス (Chrysanthemum stunt viroid, CSVd) によって引き起こされるキク矮化病は、日本国内では1977年に初めて本病の発生が確認され、その後全国各地にウイルスの被害が報告されています。CSVdに感染したキクは健全なキクに比べて草丈が短くなり、落葉性が欠ける場合があります。CSVdは熱やアルコールに

このマニュアルは農業総合試験場ウェブサイト
(<http://www.pref.aichi.jp/nososi/seika/singijutu/singijiyutu102.pdf>) からダウンロードできます。



本研究は「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」で実施しました。

キク矮化ウイルス (CSVd) によるキク矮化病は、草丈が短くなり、葉や花も小さくなる重大な病気です。日本では1977年に発病が確認されて以来、全国のキク産地で拡がり問題となっています。

そこで、農業総合試験場は他機関と協力し、伝染経路や発症しやすい状況等を明らかにするとともに、発生予防技術や発生時の対策技術等を取りまとめた蔓延防止マニュアルを作成しました。

(園芸研究部、環境基盤研究部)